令和５年田村市教育委員会第１２回定例会議事録

１	招集日時	令和５年１２月１９日（火）　午後２時３０分	
２	招集場所	田村市役所　４階　第１委員会室	
３	出席者	教育長	飯　村　新　市
		教育長職務代理者	船　田　隆　典
		委員	柳　沼　かおり
		委員	佐　藤　由香理
		委員	根　内　喜代重
４	欠席者	なし	

５　説明のため出席を求められた者

職氏名		
	教育部長	佐　藤　健　志
	教育総務課長兼教育総務係長	橋　本　弘　明
	参事兼学校教育課長	小　松　信　哉
	教育総務課教育施設係長	根　本　一　広
	学校教育課管理主事兼課長補佐兼指導管理係長	高　田　秀　人
	学校教育課教育振興係長	紺　野　健太郎
	生涯学習課課長補佐兼スポーツ振興係長	遠　藤　和　夫
	生涯学習課生涯学習係長	本　田　啓　介

６　会議の書記　教育総務課　主査　坪　井　真里子

７　開閉会　開会　午後２時２９分　閉会　午後３時２７分

８　会議に付した案件は次のとおりである。

報告第１０号　専決処分の承認について

その他の案件

９　会議の経過は次のとおりである。

発　言　者	内　　　　容
	【開会　午後２時２９分】
教　育　長	令和５年田村市教育委員会第１２回定例会の開会を宣言。 会期は、本日１日間とし、別紙議事日程によって進めたいが、異議はあるか。
委　　　員	（異議なし）
教　育　長	異議なしと認める。会期は本日１日間とし、別紙議事日程によって進めることに決定した。 会議録署名委員の指名。教育長指名で船田隆典委員と根内喜代重委員を指名。書記に教育総務課 坪井主査を指名する。
書　　　記	令和５年第１１回定例会会議録の概要を朗読。
教　育　長	ただいま朗読があった会議録について、承認することに異議はあるか。
委　　　員	（異議なし）
教　育　長	異議なしと認め、令和５年第１１回定例会会議録は、承認することに決定する。
教　育　長	日程第３、議案上程に移り、議案審議に入る。
教　育　長	報告第１０号　専決処分の承認について説明を求める。
教育部長	報告第１０号について議案書朗読
教育総務課長	報告第１０号について補足説明
教　育　長	ただいま説明の、報告第１０号　専決処分の承認について、質問、意見はあるか。
委　　　員	（なし）
教　育　長	それでは、報告第１０号　専決処分の承認について、原案のとおり承認することに異議はあるか。
委　　　員	（異議なし）

教　　育　　長	異議なしと認める。報告第１０号　専決処分の承認について、原案のとおり承認する。
教　　育　　長	日程第４　その他の案件について、委員の皆様からあればお願いする。
委　　　　　員	（なし）
教　　育　　長	それでは、事務局からお願いする。
教　育　部　長	１　事業報告事項について 令和５年田村市議会１２月定例会の予定について 会期　令和５年 11 月 28 日（火）～12 月 8 日（金）11 日間
教育総務課長	２　各行事の報告について（4 件）
〃	３　令和６年１月までの行事予定について（6 件）
学校教育課・生涯学習課課長補佐	４　事業実施状況及び予定について
教　　育　　長	市議会１２月定例会の一般質問の内容について、質問はあるか。
船　田　委　員	市議会定例会において多くの質問があるが、質問の視点を良く捉えているなと感じる。市議会議員に対する勉強会などを行っているのか。
教　　育　　長	会派でやっているかどうかは分からないが、勉強会という機会は特に設けていない。
船　田　委　員	議会の質問については、事前通告があってそれに対して答弁が準備されていると思うが、再質問、再々質問などもあるのか。
教　　育　　長	相当数の再質問がある。
教　育　部　長	再質問の内容は、当初の質問に関連した内容に限られる。
船　田　委　員	我々も気が付かない内容の質問があるので、よく調べているなと感心している。
船　田　委　員	学校給食に関する答弁中、「郷土の食事の提供」とあるが、郷土食とは

	どういうものを指しているのか。
教育振興係長	今年度は、滝根町の福うなぎを使った給食を提供している。
船　田　委　員	児童生徒に対する食のバランスや食育に関する教育はどのようにしているのか。機会は設けられているのか。
学校教育課長	学校によって違いはあるが、「今日の献立」ということで当番の子どもたちが紹介する機会は多いと思う。また、栄養士を学校に招聘し、食育していくということも教育課程に盛り込まれている。
根　内　委　員	特別支援教育関連の質問も出ていたようであるが、障害を持つ幼児、児童、生徒の就学指導についてはどのように進めているのか伺いたい。例えば、教育審議会の開催時期とそれに係る学校や関連施設、保護者へはどのように周知しているのか、相談はされているのか、また、それによっての課題などがあれば伺いたい。
学校教育課長	基本的な流れとしては、6 月頃から夏休み前を目途に保護者の同意を得ながら学校内で委員会を行い、そこで就学指導の依頼書を作成し市教育委員会へ提出する。市教育委員会では、10 月~11 月頃に田村市教育支援委員会に諮り協議することとなる。この結果を、市教育委員会へ答申という形で報告する。報告いただいた内容を各学校へ説明しながら戻す。この答申内容を基に年内中に学校と保護者間で決めていく。というのが大筋の流れとなっている。 課題については、年々就学指導委員会に諮る対象者が増えている、ということである。医師の診断書がなかなかもらえない、というのが悩みとなっている。
根　内　委　員	実際に支援委員会の中で特別支援学校とか学級とか通級ということの判断がされると思うが、それを基に就学先を決めていくという時に保護者も判断するのに迷うことがあると思う。自分も今まで関わってきて思うことが、ひとつの審議会での判断が示されてその内容で保護者と進路の相談となってくる。保護者としては「それじゃ、何で決めればいいの。ここから先はどうしたらいいの。」と悩まれることが多い。親であるならば誰もが子どものことを考えるが、特に障害を持っているお子さんの保護者は義務教育の先や将来を早い段階で迫られているという想いを持っている。であるから、教育委員会としてひとつは支援委員会の結果や状況をより丁寧に直接保護者に説明すること。そして、さらに支援学級とか通級とか学校に行ったらその先はどうなるとか、通常の学級・学校とは何が違うのか、そういうことの説明や情報提供をすることで保護者が

	判断する時の拠り所を少しでも提供してあげてほしい。教育委員会としての大きな役割の一つであるという気がする。ここがどう進められているかが大事であると思う。
学校教育課長	就学指導の対象者については、今年度71名、前年度64名、前々年度57名であった。この71名の協議結果すべてを教育委員会で1件1件説明していくことは、現実的には不可能であると思う。であるため、学校へ説明しながらお渡しし、学校と保護者の間で説明会を開く、ということになる。もちろん教育委員会としても支援に行く体制は整えているところである。幼稚園からの入学児童に対してはこども未来課と情報を共有しながら、幼稚園長、小学校長が同席し決めていく場面をできるだけ作るようにしてきた。横の連携を強くして対応した事案もあった。
根内委員	時間がかかる問題であると思うので、早期発見、早期対応ということでサポネット田村など乳幼児期から連携して保護者とともに対応していこうということなので、初めから結果ありきではなく、より丁寧な対応をお願いしたい。
教育長	新設の学級編成となると県の判断になってしまう。県の定数条例がある。更には人件費等の予算確保も必要となるため、今までは増えるだろうと予測を立てて要求しているが、この予測を上回る新設要求が毎年のように出てくる。そうなると少数のところは切られてしまう。せっかく就学指導で決めても行き場所がなくなってしまうということが未だにあるのが現状である。ここのところが適正な就学指導ができない要因となっている。
根内委員	確かにバランスの問題もあると思う。状況にもよるが、教育委員会の事務的な事だけが先行してしまうと保護者の意とか就学した後の状況にも支障が出てきてしまうことがあるので、予算や人事的な絡みがあることは重々承知のうえで、保護者の意を大事に、就学指導の説明が始まりではなく、その時には保護者の答えもある程度固まっているような状況になっているといいなと思う。結果が出てからどうするかと考え、決めることになると、失敗してしまうケースが多くなってしまう。幼児期から連携を取り、判定が出るころにはもう分かっていましたよ、というくらいが国の目指す就学指導であるので、お願いしたい。
教育長	続いて、学校教育課事業について質問、意見はあるか。
船田委員	学力向上ラウンドテーブルについては、どのように進めていくのか。グループによってテーマがあるのか。

学校教育課長	各テーブルの6名がそれぞれの話をするが、テーマは様々である。
教　育　長	各テーブル6人の話合いで完結させる。市内教職員は全員参加を基本としている。35グループに分け、持ち時間を公平に与えて実施する。時間になったら次の人が発表することにしていく。初めて参加する職員は戸惑いもあると思うが、知ってもらい続けていきたい。
柳沼委員	初めての開催か。
教　育　長	このようなスタイルで開催するのは初めて。市の職員も含めて実施するのは全国でも珍しいと思う。市の職員は保護者世代の人に参加してもらうようにした。保護者の立場から意見を述べてもらう。
船田委員	面白い取り組みだと思う。一般の方にも参加していただくといいと思う。
教　育　長	ゆくゆくはそれも検討していきたいと思っている。
佐藤委員	教育委員も見学が可能か。
教　育　長	ぜひ見学していただきたい。ただ、グループ以外の方からの質問等はご遠慮いただきたい。
学校教育課長	今年度のアチーブイングリッシュキャンプの参加者は、男子生徒4名、女子生徒7名、計11名となった。引率教員は中学校から2名、研修教員として小学校から1名、教育委員会から1名の4名体制でバックアップする。
船田委員	参加者は公募によるものか。定員に達しなかったのは残念である。体験した生徒が発表する場や機会があるといいなと思う。普通であれば学校で選考して行うような研修だと思うが。
教　育　長	定員の18名をどのように選ぶか教育委員会でも悩むような状況になれば「しめた。」と思えるのであったが、今回は定員に達しなかった。今回が2回目なのでどんどん広げていきたいと思っている。3つの中学校からしか集まっていないので、市内すべての中学校から均等に参加していただけるといいなと思っている。
船田委員	ネックとなっているのは英検3級以上取得者というところか。

教　育　長	自己負担額のところもあると思う。ただ、これだけの内容の語学研修をこの金額で受けられることはなかなかないと思うので、相場観というところもだんだんに周知していくしかないと感じている。
教　育　長	続いて、生涯学習課事業について質問、意見はあるか。
船　田　委　員	お仕事体験事業の体験先である（株）ジャパンビューティプロダクツ福島工場は何をしている事業所か。
生涯学習課課長補佐	化粧品の製造を行っており、滝根町広瀬にある事業所である。
船　田　委　員	11 月 18 日に開催した八神純子さんのコンサートのチケットは完売であったか。
教　育　長	600 席を超えたと聞いている。
船　田　委　員	歌もバンドの方々の演奏もとても素晴らしいもので感動した。ぜひ、来年度も実施してほしい。
教　育　長	来年度は既に出演者が決まっているが、こちらも素晴らしいものをお届けできると思う。また、今年度は自主文化事業の映画上映がヒットしており、先日上映した映画もたいへん好評であった。
教　育　長	そのほか、質問はあるか。
委　員	（なし）
教　育　長	令和５年田村市教育委員会第１２回定例会の閉会を宣言。
	【閉会　午後３時２７分】

	前記、会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和５年１２月１９日 教育長 委　員 委　員